

<学校名> 熊谷市立吉見小学校  
 <所在地> 熊谷市箕輪7番地  
 <電話> 0493-39-0308









<本事例の特徴>

本校では、平成21、22年度と2年間にわたり熊谷市教育委員会委嘱による外国語活動の研究を行い、成果を挙げてきた。現在では、主に外国語活動における評価の在り方と支援員の活用についての研究を続けている。その中から、外国語活動における工夫を凝らした評価と外国語活動支援員による児童の支援について紹介する。

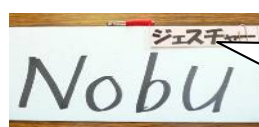
<具体的な取組や成果>

(1) 外国語活動における評価の工夫

英語活動のやくそく  
 これができたなら  
 ポイントゲット **Enjoy English!!**

<b>E Eye-Contact</b> アイポイント 	<b>N Notice</b> 気づきポイント 	<b>G Gesture</b> ジェスチャーポイント 	<b>L Listen</b> リスンポイント 	<b>E</b> Eye-contact アイコンタクト ・目を合わせて話す。
<b>I Interest</b> 進んでポイント 	<b>S Smile</b> スマイルポイント 	<b>S Speak</b> スピークポイント 	<b>H Help</b> ヘルプポイント 	<b>n</b> notice 気づく ・日本と外国のちがいに気づく。
				<b>g</b> gesture ジェスチャー ・ジェスチャーを使って伝えたいことを伝える。
				<b>l</b> listen 聞く ・友達や先生の話を生けんめい聞く。
				<b>i</b> interest 興味 ・自分から進んで手をあげる。
				<b>s</b> smile & speak 笑顔で話す ・笑顔で楽しく活動する。 ・はずかしがらず、先生や友達と何回も話す。
				<b>h</b> help 助ける ・友達をほめたり、はげましたりする。 ・友達と助け合って活動する。

外国語活動では、単に英語で会話をすることに重点を置くのではなく、非言語に重点を置いて活動することが大切だと考える。そこで、「ENGLISH」に合わせた7つのめあて(上の表)のうち、1時間に3つの項目を教師が選び、その3つの中から1つだけ、児童一人ひとりが自分のめあて(これを授業では「がんばりポイント」と言う)として、設定する。設定した後は下の写真のように、名札の右上に自分の選んだめあてを掲示して活動した。このように児童がめあてを自分で決めて表示することで、指導者は児童が今日の活動で何をめあてとして取り組んでいるのかを明確にとらえることができ、活動中の評価がしやすくなった。例えばジェスチャーをめあてとして取り組んでいる児童が、ジェスチャーをしながら会話を楽しんでいる時は、「Nice gesture」と声をかけたりする。児童は指導者や友達から認められたことで、活動に意欲的に取り組むようになった。



めあてをクリップでとめる



「Nice gesture」  
「Good job!」



本校では児童の意欲を高めるため、目に見える評価として、評価ボードという独自の評価方法を考えた。授業のはじめに選んだ「がんばりポイント」の Start の位置に自分の顔写真を置く。自分なりにがんばりポイントがよくできたら Good へ、教師や友達から

「good gesture」などと褒めてもらえたら、very good へ上げることができるという仕組みである。このように目に見える評価をすることで、自分ができた喜びを実感するとともに、次がんばるポイントがはっきり意識できる。さらに教師側もどの子が積極的に活動しているのか、評価しやすくなった。

## (2) 外国語活動支援員の活用

本校では、地域から英語が堪能な方を外国語活動支援員（JTE）として招き、授業に協力していただいている。ALTと同じような発音を聞かせたり、「Culture time」と称した活動を盛り込み、5分間程度で外国在住経験の話をしていただいたりした。具体的には、「ある国では、ポストが青い」や「家の中でもくつをはいている」という話である。児童には好評で、異文化理解の一貫として今後も取り入れていこうと考えている。以下は児童の感想である。



### お話の内容 「外国のけいさつ」

私は、「外国のけいさつ」というのがとても心に残りました。外国のけいさつは、馬に乗ってパトロールしているんだと聞いて、びっくりしました。私は、昔の武士みたいに馬に乗っているところを想像してしまいました。

### お話の内容 「電車の本数が少ない」

日本では、電車が何本も走っているのに、アメリカのインディアナ州のある地域では、1日2本くらいしか来ないということを知って、びっくりしました。また、その電車は長く、ふみきりで電車が通るのを待つと10分くらいかかると聞いて、これもびっくりしました。私は、そのふみきりにひっかかったら、待ってられないと思います。

### お話の内容 「アメリカの学校給食」

日本では、作った物を自分たちの教室に持って行って、当番が給食を同じ量ずつわけて食べますが、アメリカでは作った物を体育館へ運び、自分たちで選べるバイキングのような形になっているというのでおどろきです。いつでも満腹になれるところがいいです。